

「防災特別授業をうけて」

一年二組 樋口 浩太

「地震」それはほんも体験したことがある

と思います。けど、また小さか、たのでま

たく覚えていません。今、大きな地震があ

れば、確実にパニックになると思っています。

今回の授業で、インドネシアでおきた地震

のことについて、聞いたとき、どうして

「阪神淡路大震災」を思い出します。その

ときのことは覚えていませんが、今回の授

業で、どんな状況だったのかが想像できます。

インドネシアの地震も、この神戸の地震も、

地震にたいする、備えのなさと知識のなさを

で、大きな被害かぞえたいと思います。だから、

早大防災教育支援会がわいていることは、と

てもいいことだと思います。防災をもっとよ

く知っておけば約16万人も亡くな、た地震の

被害も、すごく減らせると思いました。

防災は一人の命ではなく、何千人も何万人

もの人の命を守ることだとわかりました。

インドネシアの地震でも神戸の地震でも、
 たくさんの人がたくさん、悲しい思いをした
 けれど、ずいぶん悲しいでいて、もなにも帰らな
 くてなれば、また次の地震があるかもしれ
 ないから、前向きに「次の命を守る」ことが、
 防災になるなと思いました。